

古都・奈良で挑む、  
染付の伝統と革新。

# 藍<sup>AI</sup>陶<sup>YO</sup>陶<sup>YO</sup>



【緑ヶ丘美術館開館5周年記念展】

染付 本多亜弥

2022年9月18日(日)～12月25日(日)まで

開館日 | 水・木・土・日曜日 11:00～16:00 (入館は15:30まで) 休館日 | 月・火・金曜日  
会 場 | 緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10 ●入場無料  
URL | <http://mam-museum.com> <お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880>

まほろば 陶  
Produced by Midorigaoka Art Museum

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館



# 藍 AI 陶 YO 陶 YO

## 染付 本多亜弥

やわらかく、瑞々しく。  
新たな藍の世界が花開く。

透き通るような白磁に、花卉がやわらかく浮かび上がる。彫りの陰影と表情豊かな藍のグラデーションが美しく調和する。藍色と灰色、そして緑、それだけで植物の鮮やかな色彩まで感じさせる。生まれ故郷である奈良の地で、陶芸家・本多亜弥はモダンなデザインに加えて技法や色の開発に挑み、「染付」の美しい藍の世界に、独自の新しい風を吹き込んできた。

陶陶（ようよう）とは「和らぎ、楽しむ」。その言葉通り、本多は「染付」の伝統と未来を颯爽と牽引していく作家なのだろう。

伝統工芸の魅力を多くの方々に伝える未来へ継承する、緑ヶ丘美術館開館5周年の節目にお届けする展覧会。ぜひご高覧ください。



染付 本多亜弥（ほんだあや）

### ● 略歴（プロフィール）

- 1977 奈良県天理市に生まれる
- 2000 第2回「染付公募展」初入選（以後1回）
- 2001 愛知県立芸術大学陶磁専攻卒業  
第32回「東海伝統工芸展」初入選（以後1回）
- 2002 第49回「日本伝統工芸展」初入選（以後11回）
- 2003 愛知県立芸術大学大学院陶磁専攻修了  
第34回「東海伝統工芸展」日本工芸会賞（最高賞）受賞  
奈良県天理市に築窯
- 2004 第33回「日本伝統工芸近畿展」初入選（以後毎年）
- 2008 個展【ギャラリーたちばな・奈良】（以後12回）  
個展【ギャラリーきのわ・奈良】（以後1回）
- 2010 日本工芸会正会員に認定される  
三人展【ギャラリー堂島・大阪】  
個展【うつわや悠々・京都】
- 2012 個展【松坂屋名古屋店・愛知】（以後3回）  
個展【大丸京都店・京都】
- 2014 第43回「日本伝統工芸近畿展」  
奈良県教育委員会教育長賞 受賞  
個展【日本橋三越本店・東京】（以後2回）  
個展【JR大阪三越伊勢丹・大阪】  
三人展【京都高島屋・京都】（以後2回）  
「CRIA展」出品【京都芸術センター・京都】
- 2015 三人展【萩の庵・徳島】（以後2回）  
個展【米子高島屋・鳥取】（以後3回）
- 2017 特別展「野」一歌会始御題によせて 出品  
【神宮美術館・伊勢】  
個展【大阪高島屋・大阪】（以後2回）  
「現代陶芸展」出品【そごう神戸店・兵庫】
- 2019 第48回「日本伝統工芸近畿展」第一次鑑査委員  
第25回「日本陶芸展」入選  
個展【龜山画廊・静岡】（以後1回）
- 2020 二人展【アトリエヒロ・大阪】
- 2021 第50回「日本伝統工芸近畿展」第50回記念 優秀賞 受賞  
まほろば陶 奈良・四人展【緑ヶ丘美術館・奈良生駒】
- 2022 三人展【ギャラリーたちばな・奈良】



染付彫深鉢 針槐



染付彫深鉢 山帰来



染付樽文深鉢



染付金柑文鉢

まほろば陶

Produced by Midorigaoka Art Museum

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

## 【緑ヶ丘美術館 開館5周年記念展】

### 交通アクセス

- 公共交通機関：〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。  
生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス『中菜畑二丁目行き』乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。
- ※ 当美術館には駐車場はございません。

【会場住所】〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

